



8.11(水)
消防機器が充実!

(財)空港環境整備協会の助成を受けて、香南市消防本部に空気呼吸器ポンベ充填用コンプレッサーが配備されました。これは、火災をはじめとする災害現場において消防隊員が装備する空気呼吸器のポンベに空気を充てんするものです。従来は災害現場において予備ポンベの残数を考慮しながら活動を行っていましたが、この機器により、圧縮空気の補充が現場にて即時対応できるようになりました。今後この機器を使用した訓練を行い、隊員の資質の向上と各種災害の被害の軽減をより一層図っていきます。



9.30(木)・10.1(金) 消防本部 ☎ 55-4141

百歳を祝って市長が訪問

毎年、百歳を迎える方に、内閣総理大臣より祝状と記念品が贈呈されています。市ではこの贈呈品を市主催の敬老式でお渡ししていますが、今年の対象者13人の内、式典に出席できなかった12人に對し、市長がご家庭や施設を訪問して贈呈しました。



高齢者介護課 ☎ 57-8510

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

10.6(水)
人口流出に歯止めを!

総務省が進めている「定住自立圏構想」に基づき、高知市と周辺の香南、香美、南国3市が「定住自立圏形成協定」を締結しました。県内では、四万十市など幅多6市町村に次いで2番目。

定住自立圏構想は、地方の市町村が連携し福祉や交通など地域に必要な生活機能を確保。都市部への人口流出を防ぐのが狙いです。

4市は◆救急医療ネットワークの体制整備◆地域福祉サービスの相互補完◆文化・スポーツ施設の広域活用◆地域交通の利便性向上と運行維持など、計13項目を盛り込んだ定住自立圏共生ビジョンを12月までに策定。共生ビジョンを策定すると、おおむね5年間、国から高知市に年間4000万円程度、周辺3市にそれぞれ年間1000万円ほど、特別交付税が優遇されます。

企画課 ☎ 57-8503

10.23(土)
防衛大臣より感謝状が授与されました

東京都内のホテルで、北澤防衛大臣より仙頭市長に感謝状が授与されました。これは第50普通科連隊の移駐に際し、深い理解と多大なる支援と協力が認められたものです。

受賞について仙頭市長は防衛大臣に「次期南海地震や各種災害への即応体制の確立をお願いしたい」と自衛隊との協力関係について話されました。

企画課 ☎ 57-8503

9月20日(月) 香南市消防大会で放水技術を競う

消防団員の消火技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、香南市消防大会「標的寄せ競技」が吉川漁港駐車場で開催されました。

この競技は高さ7m、幅4.0mの2本の支柱にワイヤーを張り、吊るされた標的めがけ双方から放水し、試合時間内(5分間)に標的を相手側の支柱に寄せる競技です。

当日は好天にも恵まれ、参加した約240人の団員は日頃の訓練の成果を発揮し真剣な表情で競技に集中していました。また、応援席では、団員の家族や地元の女性防火クラブなどが、白熱する勝敗の行方に大きな声援を送っていました。

消防本部 ☎ 55-4141



特別な夜をプレゼント

2010ドリームナイト・アット・ザ・ズー

10月2日(土)のいち動物公園で「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」が開催されました。これは、慢性病や難病、障がいのある子どもたちとその家族を閉園後の動物園へ招待し、その家族のためだけの特別な夜を過ごしてもらうことが目的です。この日訪れた来場者は、100組408人。スタンプラリー やフェイスペインティング、ふれあいコーナーなど多様なイベントに来場者は「涼しい夕べに家族で気兼ねなくのんびり過ごせて良かった」「イベントがいろいろ増えて楽しかった」とうれしそうな声と子どもたちの笑顔に包まれていました。



森のチカラを学ぶ

ルネサスフォレストランド2010

10月16日(土)香美市香北町にあるルネサスの森で、「フォレストランド2010」が開催されました。この事業は香我美町のルネサスエレクトロニクス(株)高知事業所が、高知県および香美市ほかと森林再生を目的として行う「協働の森づくり事業」のひとつ。この日、社員や家族、小学生ら約50人が参加しました。大人は実際に間伐を体験し、子どもは、下草刈り体験や紙芝居、間伐材を使用した木工クラフトなどを楽しみ、子どもから大人まで木に触れ楽しみながら、森の力や間伐の重要性を学びました。



あかちゃんのための勉強会

パパママ教室



10月15日(金)赤岡保健センターで、妊婦さんを対象に「パパママ教室」が行われました。参加者は、ママ14人とパパやお子さんなど総勢23人。教室では、お産時の準備や呼吸法、妊娠中や授乳中の栄養や歯の健康などを学びました。赤ちゃんをお風呂に入れる(沐浴)実習では、人形を使ってパパとママが、実際の赤ちゃんのように優しく大切にお風呂に入れています。パパは、妊婦疑似体験も行い、約8kgの妊婦疑似セットを装着し「結構重いぞう～妊婦って大変！」と、ママたちの大変さを実感していました。